

## 石川県産スギを使用した鉛筆

### 中本製箸株式会社

- 中本製箸では、地元の間伐材を使って独自の加工方法で割り箸をつくっています。
- 丸太の中心の、割り箸にできない部分を活用して開発したのがこの鉛筆です。
- 割り箸や鉛筆をつくる際に出る端材は、工場のボイラー燃料としてムダなく活用しています。
- 木のあたたかさが伝わるよう、塗装はしていません。
- 鉛筆を削ると、スギのさわやかな香りがします。



#### 審査委員コメント

県内の間伐材で質の高い箸を作ってきたメーカーが、端材を使い切るため鉛筆も切り出そうとした取組を高く評価します。廃棄物の削減だけでなく、持っている高い技術の有効活用にもなり、出来た鉛筆も付加価値が高い製品です。

間伐材を使っているのに「割り箸は無駄使い」と思い込んでいる一般の人たちはまだまだ多いのが現実です。いっぽう鉛筆は一般の人たちや勉強している子どもたちの手に届くので、間伐材の利活用、森林保全の情報を伝えるツールとしての役割を期待します。杉材特有の良い香りがする鉛筆です。教育や芸術には不可欠なアイテムですので、企業のノベルティとしての需要や、化粧品（アイペンシルやリップペンシルなど）や他の文具（シャーペンやボールペン）など付加価値の高い製品への展開も期待したいところです。

一般の消費者が手軽に購入できる製品への「いしかわエコデザイン」贈賞の第1号であり、今後こういった身近に購入できる製品の応募が増えることを期待します。